岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　砂防指定地内河川 大広川 砂防メンテナンス事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	B3-2	調査位置	広島県呉市広大広	北緯	34° 15′ 11.7811″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	令和4年11月28日～ 令和4年12月 2日	東経	132° 36′ 58.5214″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 101.58m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	8.00m	地盤勾配	0° 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦DO-B / エンジン：ヤンマーNF110M / ポンプ：東邦BC-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1				粗石コンクリート	淡青灰							(100)	堤体コンクリート GL-3.00m迄，径10～30cm程度の玉石を主体とし，玉石間はコンクリートで充填されている GL-3.00m～4.80m，コンクリート主体 GL-4.80m以深，径10cm程度の玉石を主体とし，玉石間はコンクリートで充填されている GL-0.50mより漏水あり	
2												(100)		
3												(100)		
4												(100)		
5	95.88	5.70										(100)		
6				流紋岩	青灰	w2	h2	C	Ⅳ	b	CL	10 [30] (100)	岩片～短柱状コアで採取される割れ目沿いに風化が進み，ハンマーの打撃により容易に割れる一部は砕ける 土軟硬区分：軟岩I	
7												15 [40] (100)		
8	93.58	8.00												
9														
10														
11														
12														
13														

標準貫入試験 深度－N値図 (0 10 20 30 40 50 60)	N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
								11/28		66／ケーシング	ダブルコアチューブ／DB					
							3.35 密度 圧縮 3.45	11/29								
							4.40 密度 圧密 4.50									
										66／泥水	ダブルコアチューブ／DB					
								11/30								